

山形県 西川町 移住・定住ガイドブック

にしかわぐらし。

～いつまでも幸せに暮らしましたとさ。めてたしめてたし。～



月山のある町—山形県西川町

西川町に移住したいけど、
住まい・仕事を紹介して
もらおうのだろうか…

見知らぬ土地で
生活できるかな…

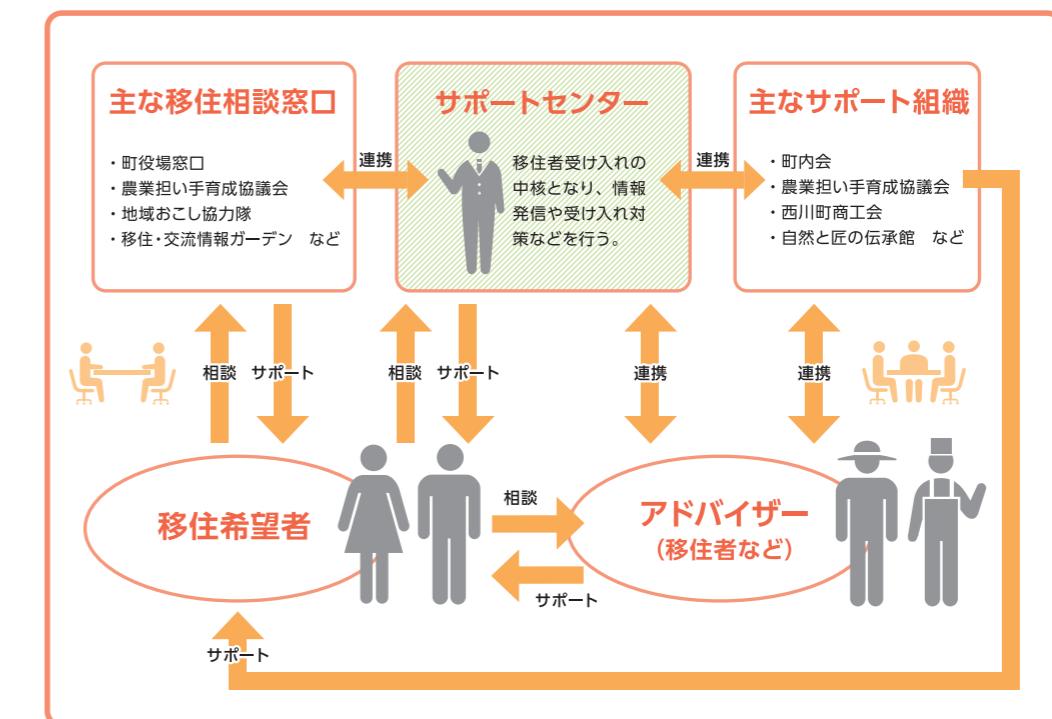
ご近所付き合い
大丈夫かな…

誰が相談にのってくれる
人が居たら安心だけど…

安心して西川町でお暮らしいただけるために…
西川町 移住サポートセンターにご相談ください!

地方への移住を希望される方は、移住について調べれば調べるほど、多くの悩みや困難に直面すると思います。また、実際に移住し、初めて知る地域の習慣や文化に戸惑うことも多いでしょう。そこで、西川町では「移住先として西川町を選んでいただけるよう」また「定住後に快適な生活を送っていただけるよう」移住希望者が気軽に相談できる「西川町移住サポートセンター」を設置しています。

移住サポートセンターの主な役割



西川町への移住・定住の
ご相談窓口

西川町移住サポートセンター【西川町政策推進課内】

〒990-0792 山形県西村郡西川町大字海味 510 番地

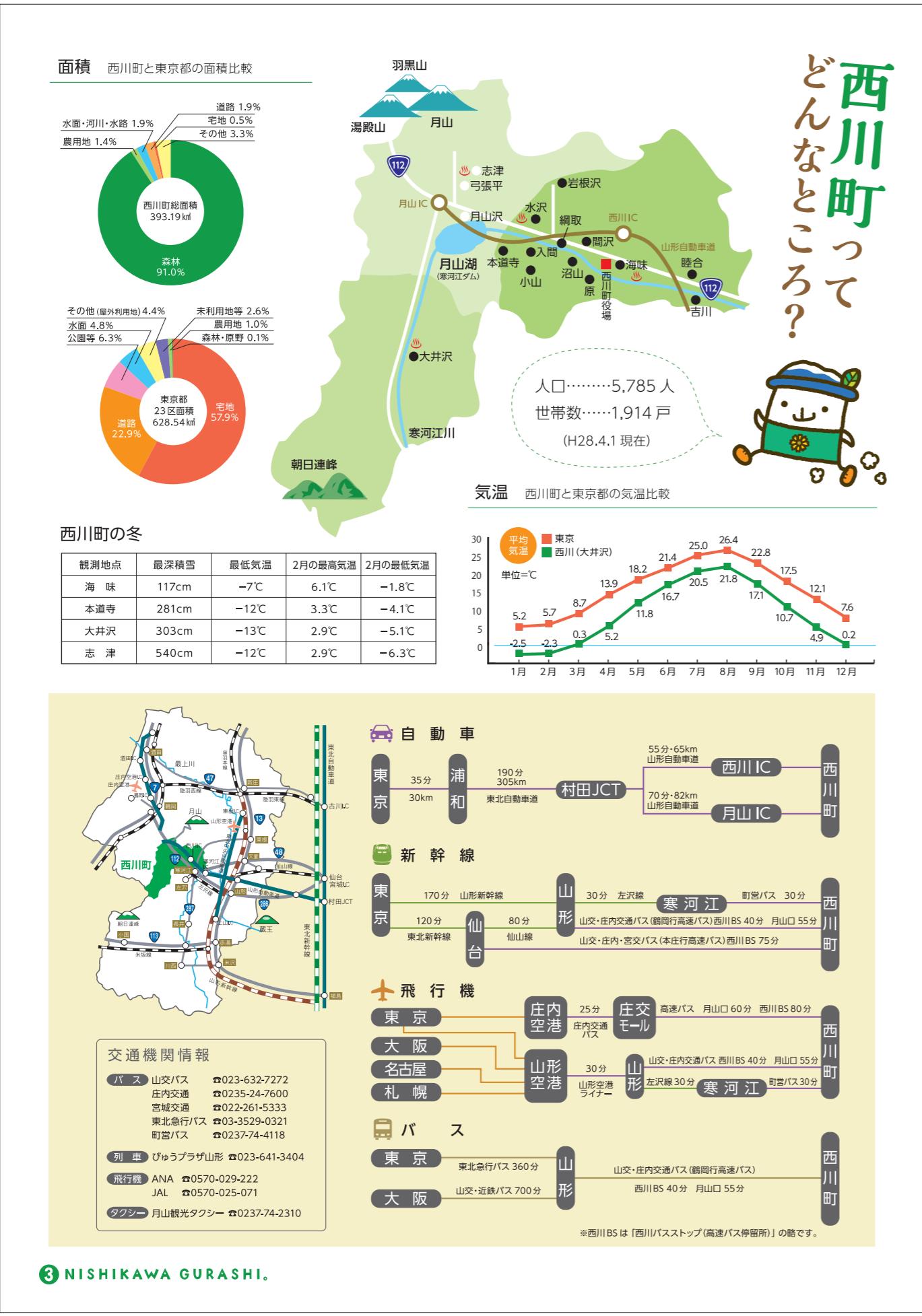
TEL: 0237-74-2112 FAX: 0237-74-2601

E-mail:kikaku@town.nishikawa.yamagata.jp
AM8:30~PM5:15 (定休日: 土・日・祝日)



西川町HP 西川町移住HP

発行:西川町政策推進課
住所:〒990-0792 山形県西村郡西川町大字海味 510 番地
E-mail: kikaku@town.nishikawa.yamagata.jp
西川町移住 HP: http://www.nishikawa-iju.jp/



山形県 西川町 移住・定住ガイドブック にしかわぐらし。

山形県 西川町

西川町は、山形県のはば中央、県都山形市の西方32kmに位置し、東北の名峰月山の麓に広がる町です。総面積のほとんどを森林が占め、清流日本一と名高い寒河江川が流れるなど、豊かな大自然に囲まれており、東北の里山ならではの四季の移ろいを感じることができます。また、県内でも有数の豪雪地帯であるため、町の中心部でも積雪が1mを超します。

CONTENTS

西川町について

- … 目次
- … まちの基礎情報
- … まち自慢

移住者体験談

先輩の声、きいてみた。

- … 伊東 優さんの場合 (移住体験編)
- … 高橋 詩織さんの場合 (地域おこし協力隊編)
- … 濱谷 昌邦さんの場合 (雇用就農編)
- … 鈴木 真一郎さんの場合 (独立就農編)
- … 三浦 一之さんの場合 (和紙漉き職人編)
- … 阿部 哲也さんの場合 (スローライフ編)

移住支援

- … 移住支援の紹介

月山朝日観光協会イメージキャラクター「ガッさん」

2015年に誕生した愛くるしいキャラクター。「月」の字をモチーフに、口と鼻は「山」の字になっています。月山をイメージした帽子と、ウサギギクのブローチを身に付けています。

プロフィール

自然豊かな月山に棲む妖精。中性的とよくいわれるが、本当はどうちらか誰も分からぬ不思議な子。緑あふれる月山から生まれたせいか、自然はもちろんすべてに対して優しそうな性格。

NISHIKAWA GURASHI. ②

まち自慢ランキンギ

月山は西川町のシンボル!

標高1,984m。出羽三山の主峰で、周辺は5自治体に囲まれています。特に夏スキーやトレッキングに親しむ観光客は、西川町側からの利用が多数を占めます。また、月山は高山植物の宝庫で、350種類以上といわれる多様な花々が6月末から9月中旬まで途切れることなく彩ります。

月山は
宝の山だね!



2位

月山



3位

山菜・さのこ



豊かな山の幸で山菜王国へ

西川町では、月山・朝日連峰をはじめとする豊かな自然と清らかな水に恵まれ、さまざまな山菜が採れます。春のコゴミやタラノメ、ワラビや山ウドなどが代表的。冬には山に雪が深々と降り積もるため、残雪の消え際に生える山菜は柔らかく、味わい深いといわれています。きのこは、町の9割以上の面積を占める山林・原野を中心にシメジやマイタケなどが採れるほか、広葉樹を利用してナメコやヒラタケなどの原木栽培も行われています。

きのこたっぷりの
山菜そばは絶品!



3位

水



西川町の豊かな自然が育む生命の源! 名水百選「月山山麓湧水群」

月山の万年雪の雪溶水は、ブナの原生林など豊かな自然のフィルターを通り、400年かけて地表に湧き出すといわれています。西川町では、昭和58年に月山自然水の販売を開始しました。また、この月山自然水を使った地ビールも販売しており、「水にこだわったまちづくり」を進めています。

西川町内外の方に「まち自慢」を募集しました。

西川町の「良いトコ・良いヒト・良いモノ」を共有してこの町に住む幸せを感じ、これからまちづくりに活かすために実施したアンケートです。



1位

人柄



日常の生活やイベントでたくさんの人と関わることが多く、みんな優しくて仲の良い方々ばかりなので、これからももっと多くの人と関わり、生活していきたいです。(20代男性)

人の心も食べ物も何でも、雪を溶かすあったかさがある。(30代女性)

いつも、どこですれ違ってもあいさつを欠かさず、笑顔の方々ばかりです。(20代女性)

いつも畠で採れた野菜や漬物などをいただき、優しさを感じています。(60代男性)



四季

四季極彩の西川町

西川町の豊かな自然は、四季折々に表情を変え、美しい景色を求めて多くの写真家や画家が訪れます。豪雪という厳しい自然環境が生み出す「残雪と桜」「残雪とブナの新緑」「雪解けに咲く高山植物」などは、西川町ならではの風景といえます。

四季それぞれで緑や赤などの鮮やかな色合いになるので好きです。身边に自然と触れ合えるし、毎月楽しみです。(10代女性)



学校生活

番外編その3

皆がうらやむ学校生活

西川町の子どもたちは、カヌー教室やスキー教室などの課外授業、登山やキャンプなどの親子行事を通して、たくましく成長しています。

除雪が上手なところ

番外編その2

思いやりの除雪

除雪車は、新雪深が10cm以上を基準に出動。町道の除雪延長距離は91.3kmにも及びます。経験豊富なオペレーターによる除雪はまさに職人技であり、迅速かつ正確な除雪を実現しています。

四季

四季極彩の西川町

5 NISHIKAWA GURASHI.

NISHIKAWA GURASHI. 4



とりあえず行動してみること！
自分は月山に興味を持ち、半年後には西川町を訪れました。訪れて初めて分かることも多く、嫌になれば戻れば良い。暮らし体験住宅はそれが可能なので、利用した方が良いと思いますよ。

**移住希望者へ
メッセージをどうぞ！**

一緒にお酒を飲んだり、行動を共にしたり、多くの時間を一緒に過ごしました。外部から来た者同士の交流があり、話も弾み面白かったですよ。月山です。あの景色は今でも忘れられませんし、一瞬で心惹かれました。冬の時期はほぼ毎日雪が吹き荒れていましたが、その初日だけ一面の銀世界と澄んだ青空の中、月山を眺めることが出来たんです。もう運命を感じましたね！

滞在中の一番の思い出は？

これからやつてみたいことは？

滞在中、地元の方の紹介で、大井沢の空き家をお借りしました。ネットのやり取りでは辿りつけませんでした。ただ、自分は仕事の関係上、一ヵ所に留まる（定住する）という考えはありません。今回新たに西川町の空き家を借り、東京、長崎、山形の3ヵ所を拠点として活動しています。建築家として、単に家やマンションを造るのではなく、その土地の歴史や文化を把握し、それらに沿った建物を造りたいと思っています。空間の力が問われる仕事を手掛けたいですね。

あなたも西川町で移住体験をしてみませんか？

西川町では、移住希望者が西川町での生活を体験できるよう、「西川町暮らし体験住宅」を設置しています。

西川町暮らし体験住宅1、2号室の場合

- 設置場所：町営賃貸集合住宅「コープ睦合」5階2部屋
- 間取り：和室3部屋、台所兼食事室、浴室、便所、テラス
- 設備品：家具・家電備え付け
- 貸付期間：1ヶ月以上2ヶ月以内
- 利用料金：21,000円／月
(利用料金には、光熱水費含む。その他経費は、利用者負担)
- 申込方法：西川町移住サポートセンターへ電話またはメールにて、ご連絡ください。

西川町移住サポートセンター
TEL: 0237-74-2112 FAX: 0237-74-2601
E-mail:kikaku@town.nishikawa.yamagata.jp
AM8:30～PM5:15(定休日：土・日・祝日)

利用開始までの流れ

1. 空き状況の確認
 2. 利用申込書の提出
 3. 定期賃貸契約の締結及び利用料金(貸付料)の納付
 4. 利用開始
- まずは、西川町移住サポートセンターへ電話またはメールにて、空き状況をご確認ください。
暮らし体験住宅申込書に必要事項を記入のうえ、センターまでご提出ください。
※申込書提出後、事前審査を行いますので、提出から決定までは10日～15日ほど時間をお求めになります。
西川町と定期賃貸契約を締結後、入居前までに利用料金を納付いただきます。
利用開始日の待ち合わせ時間まで暮らし体験住宅にお越しください。現地で使用方法を説明後、鍵を引渡します。



**先輩の声
きいてみた。**
～移住体験編～

01 伊東 優さん



移住歴
11ヶ月
西川町
大井沢
↑
東京都

※東京との二地域居住

29歳。長崎県出身。
建築家（東京大学特任研究員）

東京大学で建築・都市について学ぶ。大学院在学中にオランダの建築設計事務所で修行したのち、自転車でユーラシア大陸を横断した経歴の持ち主。現在は建築家（一级建築士）として幅広い分野で活動する一方、東京大学特任研究員を務めている。

西川町に移住しようと 思ったきっかけは？

西川町での生活はどうでしたか？

注連寺（鶴岡市）の天井絵画を描いた木下晋先生が大学でデッサンを教えており、木下先生の紹介で注連寺を訪れました。その際、芥川賞を受賞した森敦著『月山』が注連寺で書かれたことを知りました。「この小説にとにかく感動したんです。こんなすばらしい文章を書く人がいるんだ」と。その後、森敦の全集も読み破し、彼をより知るために「彼が見た同じ景色を見る必要がある」と思い、月山の麓に住居を探しました。ネットで住居を探したところ、西川町の空き家バンクにたどりつきました。すぐに西川町に連絡し、物件の交渉をしましたが、うまく話しがまとまりませんでした。そんな時、町担当者から暮らし体験住宅を紹介していただきたいんです。仕事に余裕がありましたし、雪国に住むためには、冬の時期を体験する必要があると思い、冬の期間、暮らし体験住宅に滞在しました。



西川町での生活に不満はありませんでしたか？

体験住宅が集合住宅の一室でした。田舎暮らしを体験するためには、一軒家の方が良いですよね。ただ、同じ住宅に地域おこし協力隊があり、



基本的に自分で好きなように行動していました。1日中本を読んだり、雪旅籠の制作に携わったり。都会では体験できない最高の時間を過ごすことが出来ましたね。

分からることは何でも聞く!
知らないことは素直に知らないと言
う!地域の方に聞くと、それがコ
ミュニケーションのきっかけになり
ます。なおかつネットには載つてい
ない情報を、ネットより早く教え
たり方を教えてくれたこともあ
りました。第二、第三の実家がある
ような安心感がありますね。

移住希望者へ メッセージをどうぞ!

これからやってみたいことは?
あなたがやったことがありますね。



地域おこし 協力隊とは!?

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

西川町の地域おこし協力隊

西川町の地域おこし協力隊は、これまで以下の分野で活躍しています。

移住・交流の 推進

(移住情報の発信、
移住相談対応など)

地域活性化の 支援

(地域資源の発掘と
活用など)

コミュニティカフェの 企画・運営

※年度によって、募集する分野が異なります。
興味のある方はご相談ください。

待遇等

西川町の場合、地域おこし協力隊員の主な待遇は以下のとおりです。

- ①活動謝礼：166,000円／月
- ②住居：町で準備し、家賃も町が負担します。
- ③車、パソコン：町が貸与します。
- ④雇用関係：町との雇用関係はありません。

地域おこし協力隊の活動

西川町の地域おこし協力隊員が、Facebookで西川町を紹介しています。



▲山形県西川町
地域おこし協力隊
Facebook



これからやってみたいことは?

また、自己開示をすることも重要です。地元の方は何も知らない相手に対し、何を話したらよいのか分からぬと思います。「人に名を尋ねる時はまず自分から名乗る」という言葉もありますから、どんどん自己開示をして信頼関係を築いていくことが良いきっかけになると思います。



02 高橋 詩織さん

移住歴
9ヶ月
西川町
睦合
↑
東京都

24歳。東京都出身。地域おこし協力隊。

短大を卒業後、商業施設のインフォメーションに勤めていた時です。主に道案内を担当しており、お客様の喜ばれる顔は自分のことのように嬉しかったのですが、次第に1対1の対応ではなく、もっと広い範囲で人の役に立てる仕事はないか?と考えるようになりました。そんな時見つけたのが、集落支援や移住交流を推進する地域おこし協力隊です。山形県は祖父の出身であり、真っ先に山形県が浮かびました。

西川町を調べ、一番に感じたのは壮大な自然の美しさです。一昔前の日本のような温かみのある建物や田園風景に小さい頃の記憶がフラッ

西川町では車移動が基本です。移動時間はプライベート空間になりますので、満員電車で人に揉まれるより快適です。また、西川町の方は質問するより前に「困っていないか」と声を掛けてくれるんですね(笑)。そんな優しさのおかげで、寂しいと思う暇もなく毎日が流れています。私自身も、できるだけ各地区に足を運び、地域に馴染む

よう努力しています。

西川町での生活はどうでしたか?

西川町では車移動が基本です。移動時間はプライベート空間になりますので、満員電車で人に揉まれるより快適です。また、西川町の方は質問するより前に「困っていないか」と声を掛けてくれるんですね(笑)。そんな優しさのおかげで、寂しいと思う暇もなく毎日が流れています。私自身も、できるだけ各地区に足を運び、地域に馴染む



西川町に移住しようと
思ったきっかけは?

私が幼少期だった頃、人見知りで引っ込み思案だったため、母から国際自然学校に行つてみるよう勧められました。最初は嫌で仕方なかつたですが、数々の自然体験プログラムを経験していく中で、気付けば自然や人の関わりが好きになつていきました。この頃から「いつかは自然溢れる土地で暮らしたい」と考えていました。

失輩の声
きいてみた。
~地域おこし協力隊編~



先輩の声 きいてみた。 ～独立就農編～



04 鈴木 真一郎さん

移住歴
14年

西川町
大井沢

↑
神奈川県
横浜市

42歳。農家。
妻と子ども 4人の 6人家族。神奈川県出身。



大学時代、ワンダーフォーゲル部、フィールドワークを主な活動とする地域研究ゼミに所属。大学を卒業後、旅館などで勤務を経て、2002年4月より月山ボレロファームにて住み込みで半年間働く。その後、NPO法人エコプロのスタッフとして、約5年間山岳ガイドを経験。現在は、農業に従事。2004年結婚。

西川町に移住しようと 思ったきっかけは？

私が山に近いところで暮らしたい

という夢を持つようになつたのは、大学時代のこと。ワンダーフォーゲル部での活動を通して、東北の自然の豊かさに心惹かれ、「山小屋を経営する」という目標を掲げていました。

そこで、大学を卒業後、まずは料理を身に付けるため旅館で働きました。しかし、3年経つても親方から認めてもらえませんでした。そんな時、大学時代の想いが蘇ってきたんです。東北地域独自の生活や文化を受け継ぎたい。フィールドワークを基に地域研究を進めていくというゼミに所属していたので、そのなかで「人と里山との関わり」に心惹かれていた自分を思い出しました。

その後、原点に戻るつもりで、大学の後輩のフィールドワークに参加。その調査対象が西川町でした。大井沢のオーブンな雰囲気と、「東北の山の近くに住みたい」という夢を叶えてくれる北は月山、南は朝日連峰を望む大井沢のロケーションに魅了され、西川町への移住を決意しました。後付けになりますが、「地

域独自の生活や文化を受け継いでいる」という想いを形にできそうな場所が、大井沢だったのかかもしれません。

山岳ガイドから農業に 従事するに至った経過は？

西川町に移住後、山岳ガイドで生計を立て、結婚。4人の子どもにも恵まれました。でも、山岳ガイドの仕事は家を空ければかりで、このままでは家庭崩壊になりかねず、何より「大井沢独自の生活や文化を受け継ぎたい」という思いが蔑ろになっていました。そんな時、地元の方からの紹介を受け、農業に出会いました。自然の息吹を感じながら、土に触れ、体を動かす。これこそ人間本来の仕事だと思いましたね。



農業生産法人と 独立就農の違いについて

就農して間もない頃は、農業生産法人に勤めましたが、2年経たないうちに独立しました。要因の一つは、時間に制約され、山に行けなくなつたこと。独立後もあり行けていませんが、農業に専念するため「山に行かない」という自分自身の気持ちの面で大きな違いがあります。しかし、今思えば、組織勤めは制約される時間が限られていると言えるかもしれません。日中の勤務が終われば、後は家族との時間になります。独立すれば、昼夜関係なく働くことも多く、家族と一緒に居る時間は増えたかもしれません。しかし、組織勤めは制約される時間が少なくなったと言えるかもしれませんね。

**子育て環境だけを考えれば、
町中に拠点を移すことも
考えられるが…**

私のわがままなのかもしれないですが、自分にとって大井沢に居なければ、西川町、山形県そして東北に居る意味がないんです。大井沢の景色や空気感、文化など、大井沢の全てに魅了されました。大井沢の生

私の目標は「食べ物を作る・使う（調理して食べる）・作る過程を伝える（農業体験）」これらを一つの事業体として取り組むこと。そして、登山やスキーなどを絡めて西川町の自然や、ここで生きる心地良さを体験してほしいと思っています。そのためにも、まずは質の良い農産物を作ることが今の目標ですね。

結婚するまでは、自分のしたいようにしていました。大変なのは、家庭を持ってから。地域や学校とかわる時間が増えました。そんな時に頼る親族が居れば、自分が家を空けても、家のことは任せられる



西川町の 子育て支援

西川町には4つの
子育て支援が
あります。



子育て支援医療

町内の乳幼児から中学校3年生まで医療費が無料です。

子育て支援金

出産の際に「お祝金10万円」を差し上げます。

にこにこおしり応援事業

2歳未満までおむつ代を助成します。

保育園の無料化

第3子以降の「にしかわ保育園」の保育料が無料です。



大井沢を和紙の里にすること。今は「自然と匠の伝承館」も空いており、私の工房もあるので必要な機械は揃っています。また、自宅兼工房の近くに和紙の店を構えており、台所やお風呂場もあるので、そこに住みながら和紙作りを学ぶことができます。技術指導も含め可能な限り支援するので、和紙職人を増やしたいですね。

年は収入が安定しないですし、貯金を切り崩しながらの生活でした。だからと言って、帰りたいという思いはありませんでしたよ。どのように生活をしていても何かしら不満はあると思いますから。

これからやってみたいことは?

移住希望者へのメッセージをどうぞ!



西川町に移住しようとすると、近所付合いをしっかりとすること。隣近所と仲良くなろうといふ気持ちがあれば、周囲から声を掛けてくれます。近所の助けがないれば田舎では生活が成り立ちませんからね。

西川町 自然と匠の伝承館とは

自然と匠の伝承館は、西川町の伝統工芸が体験できる体験工房の館だよ♪



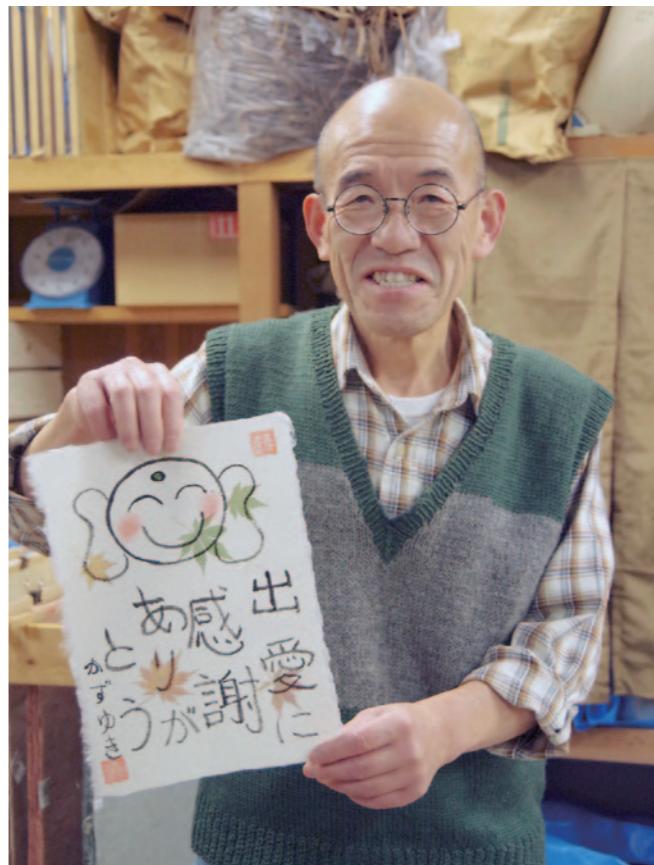
体験可能な伝統工芸

- ・和紙漉き
- ・月山めのう
- ・土鈴絵付け
- ・草木染
- ・月山機織り
- ・伝統水引折形
- ・ビニール草履
- ・和紙のあかり

・こけし絵付け など



こけし巧人 志田 菊宏氏



05 三浦 一之さん

移住歴
22年

西川町
大井沢
埼玉県

65歳。紙漉き職人。秋田県出身。

1986年、35歳の時、約17年間のサラリーマン生活にビリオドを打ち、和紙の世界に飛び込む。埼玉県小川町での約7年間の修行を経て、1993年西川町に移住。移住後、数年間は西川町の「自然と匠の伝承館」にて紙漉きを行う。その後、自宅兼工房の「大井沢工房さんぽ」にて月山和紙を漉いている。

実際に和紙の世界に飛び込んだのは35歳のときでした。周りに相談したときに猛反対され、一時は思い留まりましたが、自分の好きなことを仕事にしたいという思いが捨てられず、紙漉き職人の道を選びました。

脱サラした私は、全国有数の和紙産地である埼玉県小川町で7年間修行し、紙漉き職人として独立に向かってきました。

修行を始めて5年目くらいのときですかね、「独立して自分が目指す和紙作りをしたい!」と思ったのは。そのとき、西川町で「ものづくり工房自然と匠の伝承館」が完成し、紙漉き職人を探しているという話をしを知人のつてで知ったんです。当時の町担当者が、わざわざ埼玉まで尋ねて来て、町の概況や行政支援等について説明してくれました。

西川町に移住した当初は、「自然の匠と伝承館」で和紙製造をしました。町とは、和紙製造に必要な自然豊かな環境は、紙漉きをするには理想的な場所でした。特に大井沢の自然環境に惹かれた私は、西川町に移住することを決意しました。



西川町に移住しようと
思ったきっかけは?

サラリーマン時代、和紙好きの同僚と和紙の産地巡りをしていました。

初めは和紙に興味はありませんでしたが、和紙漉き体験をするうちに興味が湧いてきたんです。それで、和紙の専門店に話を聞きに行くようになりました。



これからやってみたいことは?

私たちの若い頃に比べ、目に見えて山が荒れています。山菜が沢山採れたところも、今となっては手入れが行き届かず、草木が生い茂っています。そういう山々を何とかしたいと思っていますが、年齢的に難しいのが現状です。

移住希望者へのメッセージをどうぞ!

やりたいことは一杯ありました。あと10年若ければ…と今となって思います。皆時間は限られています。やはり決断力、行動力が重要だと思います。

また、何事もそうですが、やはり重要なのは『人との繋がり』です。全く知らない土地に移住するのであれば、人脉をつくる努力をしなければいけませんし、地域に溶け込む努力も必要だと思います。



西川町の集落

西川町には13の行政地区があります。

- | | |
|--------------|--------------|
| ①睦合 (むつあい) | ⑧原 (はら) |
| ②海味 (かいしゅう) | ⑨沼山 (ぬまやま) |
| ③間沢 (まざわ) | ⑩入間 (いりま) |
| ④綱取 (つなとり) | ⑪小山 (こやま) |
| ⑤岩根沢 (いわねさわ) | ⑫本道寺 (ほんどうじ) |
| ⑥水沢 (みずさわ) | ⑬大井沢 (おおいさわ) |
| ⑦吉川 (よしかわ) | |

それぞれの地区が、地域の特色を活かした施策を展開しています。

●観光・学習交流の地 本道寺・(月山沢・弓張平・志津)・大井沢地区

磐梯朝日国立公園などの大自然や出羽三山信仰の歴史文化を活かし、観光産業や自然教育学習が盛んな地域です。



06 阿部 哲也さん

移住歴
3年



75歳。妻と息子の3人家族。山形県西川町出身。

東京では、飲食店（居酒屋）を経営し、西川町の山菜料理やお酒などを提供。町産食材のPRに大きく貢献した。飲食店閉店後は、夫婦で長年夢見た田舎暮らしを実現するため、山形県西川町に2013年4月移住（Uターン）。東京在住時には山形県人東京連合会江東区会長も務め、現在も首都圏在住の郷土出身者と西川町を繋ぐパイプ役を担っている。

田舎暮らしは長年の夢であり、結婚当初から「将来は田舎で生活する」と決めていました。初めは、長野県が第一候補でしたが、様々な面で折り合わず、妻の実家がある栃木県矢板市を候補としました。そんな中、2011年3月に東日本大震災が発生。妻の実家の山々は放射線量が高かったことから、西川町への移住を決意しました。

東日本大震災を目の当たりにし、首都圏直下型の大地震も心配になりました。西川町が自分の故郷だということもあります。西川町ではこれまで大きな災害がほとんどないでしょうか？それも魅力の一つですね。

移住の準備を進めるうえで、誰に相談しましたか？

西川町のアドバイザー（総合政策審議会委員）をしている弟に相談し、西川町を隅から隅まで案内してもらいました。何でも相談にのってもらえるサポート体制があると非常に心強いですね。

西川町では、一軒家（古民家）で家庭菜園をすることが夢でした。ただその夢は叶わず、現在は集合住宅（コープ睦合）に入居しています。しかし、近くに菜園も借りることができます。（コープ睦合）に出来ましたし、地区の皆さんとは一緒に旅行に行ったり、お酒を楽しんだり、良い関係を築けています。自分が作った野菜で漬物などを作りたのですが、集合住宅では保存場所が限られるので、そういう点では不便ですね。

それから、現在の集合住宅は、一つの町内会としてまとまりがないよ

西川町に移住しようとと思ったきっかけは？

やはり四季の移り変わりです。春は新緑、夏は涼風、秋は紅葉、そして冬は一面に広がる白銀の世界。東京では決して目にすることができない光景です。それと食べ物。山菜がとにかく大好きで、周りから沢山の御裾分けを頂きます。頂いたものは加工してお返しするようにしておなり、喜んでもらえたときは、嬉しいですよ。

西川町の魅力は？

西川町では、一軒家（古民家）で家庭菜園をすることが夢でした。ただその夢は叶わず、現在は集合住宅（コープ睦合）に入居しています。しかし、近くに菜園も借りることができます。（コープ睦合）に出来ましたし、地区の皆さんとは一緒に旅行に行ったり、お酒を楽しんだり、良い関係を築けています。自分が作った野菜で漬物などを作りたのですが、集合住宅では保存場所が限られるので、そういう点では不便ですね。

現在の住まいは？

子育て

西川町では、出産・子育てしやすい環境づくりを目指しています。

Q. 西川町に子育て支援はあるの？

A. 西川町には4つの子育て支援事業があります。

子育て支援医療

町内の乳幼児から中学校3年生まで、医療費が無料です。

子育て支援金

出産の際に「お祝金10万円」を差し上げます。

にこにこおしり応援事業

2歳未満までおむつ代を助成します。

保育園の無料化

第3子以降の「にしかわ保育園」の保育料が無料です。



にしかわ保育園

仕事

西川町では、求人情報の提供と就業支援を充実し、あなたの新しいチャレンジを応援しています。

Q. 農業をしたいけど何から始めればいいの？

A. 就農したい方のために、西川町独自の支援があります。

西川町農業担い手育成協議会による全面的バックアップ

新規就農者等生活支援事業

西川町に居住し、新規就農する方に対する家賃・光熱水費の補助
(補助額：家賃 20,000 円 / 月 光熱水費 5,000 円 / 月)※2年間限度

技術習得支援事業

農業機械の操作など専門技術を習得するための経費助成
(補助額：経費の1/2以内)



就農相談会

Q. 就職先を探したいんだけど…

A. 西川町の移住情報をまとめたホームページ「にしかわぐらし。」では、西川町と近隣市町の求職情報（週刊求人情報（ハローワークさがえ発行））を毎週更新中です。

Q. 起業するにはどうすればいいの？

A. 町内で新たに起業する方に対し、事業に要する経費の一部を補助します。

対象業種：鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育・学習支援業、サービス業
※ただし、農業、林業、漁業と連携した加工・流通・小売業等については対象とする。

補助対象経費：事業所等の開設に係る設備・備品購入費、設備設置費その他事業所等開設に係る経費
補助限度額：150万円



西川町では

//こんな移住支援を準備しています。//

住居

西川町では、空き家バンクの運営や町営住宅の整備など、移住希望者の要望に合わせた住環境の整備を進めています。

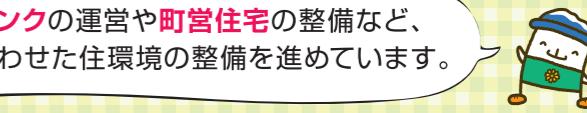
Q. 古民家を改修して一軒家に住むにはどうすればいいの？

A. そんなあなたには、こちらの制度をご紹介します！

西川町空き家バンク制度

町内に空き家をお持ちで賃貸や売却等を希望する方から、空き家バンクへの登録の申込みを受け、登録された物件の情報をホームページに掲載し、西川町に移住を希望する方に対して情報提供を行う制度です。

西川町 空き家バンク 検索



西川町住宅建築支援制度

住宅および付属建物の新築、増改築リフォームに係る経費について補助金を交付します。
増改築の場合、最大で110万円の補助を受けることができます。



Q. 若者、子育て世代の定住支援はあるの？

A. もちろんあります。こちらの制度をご紹介します！

若者定住促進住宅

対象者 申込み時点で入居者全員が45歳以下など

間取り 2LDK 又は 3LDK

家賃 40,000 円～



にしかわ保育園、西川小学校、西川町立病院まで徒歩3分。



Q. 賃貸集合住宅に住むには？

A. 西川町には1件の賃貸集合住宅があります。

コープ睦合

間取り 3DK

家賃 23,000 円～



Q. 一軒家を建てるには？

A. 分譲地の価格はこのようになっています。

みどり団地の分譲

販売面積 456.73 m² (一区画)～

販売価格 469.05 万円 (一区画)～



マイホーム応援資金として
最大290万円の援助。